



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6927 URL https://www.heliostec-hd.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐藤 良久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役統括管理部部長 (氏名)秋葉 泰 (TEL) 03(6264)9510
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,283	△35.3	134	△93.4	146	△92.8	13	△99.1
2019年3月期第3四半期	17,445	△2.2	2,027	△26.6	2,037	△25.0	1,449	△24.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 83百万円 (△93.7%) 2019年3月期第3四半期 1,338百万円 (△35.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	0.74	—
2019年3月期第3四半期	80.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,346	12,181	79.4
2019年3月期	18,207	12,634	69.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,181百万円 2019年3月期 12,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	△36.8	540	△77.2	550	△76.8	560	△68.7	30.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	22,806,900株	2019年3月期	22,806,900株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	4,699,399株	2019年3月期	4,708,717株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	18,104,194株	2019年3月期3Q	18,098,189株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用改善が維持されるなか、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。米中通商問題の長期化、中国経済の減速など海外経済の不確実性の影響もあり、輸出を中心に弱さが長引いており、依然として不透明な状況が続いております。

また、当社の主要マーケットである液晶パネル業界においても、先行き不透明などから、依然として中国を中心としたアジア市場における設備投資需要は減速傾向で推移しました。

このような経営環境のなか、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ61億61百万円(35.3%)減収の112億83百万円となり、営業利益は18億92百万円(93.4%)減の1億34百万円、経常利益は18億90百万円(92.8%)減の1億46百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億36百万円(99.1%)減の13百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額については、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

①ランプ事業

ランプ事業につきましては、露光装置用光源ユニット用ランプが顧客先の在庫調整により出荷数が減少するなど、当初の計画には至らず厳しい状況であったものの、当第3四半期連結会計期間より、出荷数が回復基調で推移しました。

なお、超広帯域LED素子や半導体レーザーを使用した光によるCFRP表面処理ユニットの開発については、現在製品またはモジュール化に向けて積極的に進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比8.5%減収の22億61百万円、セグメント損失は、1億33百万円（前年同期はセグメント利益17百万円）となりました。

②製造装置事業

製造装置事業につきましては、中国を中心としたアジア市場における設備投資需要の減速による影響を受け、依然としてFPDパネルメーカーの工場建設における工事停滞などの要因により、配向膜製造装置等の出荷が見送られる厳しい状況で推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比56.1%減収の49億3百万円、セグメント利益は、前年同期比77.4%減の4億88百万円となりました。

③人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣、設計請負及び製造派遣を行っております。技術者派遣及び設計請負については、自社独自の未経験者教育システムにより、技術者として高付加価値のサービスを提供し、安定した業績で推移しました。また、製造派遣については、引き続き人材獲得への積極的な投資を行うことにより、派遣者数が増加し、順調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比7.4%増収の41億68百万円、セグメント利益は、前年同期比1.0%増の2億円となりました。

なお、当社は2019年12月9日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社日本技術センター及び非連結子会社である株式会社テクノリンクの当社が保有する全株式を譲渡することを決議し、2020年1月6日に株式譲渡を完了いたしました。詳細につきましては、2019年12月9日に公表いたしました「子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ28億71百万円減少し、120億71百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が12億40百万円、受取手形及び売掛金が13億55百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、32億75百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が1億32百万円、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が1億1百万円増加した一方、建物及び構築物が35百万円、有形固定資産のその他に含まれる機械及び装置が50百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が1億30百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ28億60百万円減少(15.7%減)し、153億46百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ23億38百万円減少し、28億56百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が7億8百万円、電子記録債務が3億96百万円、賞与引当金が3億26百万円、前受金が7億63百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し、3億9百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が70百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ24億7百万円減少(43.2%減)し、31億65百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億53百万円減少(3.6%減)し、121億81百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当5億42百万円行った一方、親会社株主に帰属する四半期純利益が13百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、上述の資産の減少及び負債の減少を受け、前連結会計年度末に比べ10.0ポイント上昇し、79.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績を勘案し、2019年11月5日に公表いたしました2020年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年2月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,141,751	2,901,580
受取手形及び売掛金	5,961,141	4,605,543
電子記録債権	1,596,315	816,402
商品及び製品	200,062	244,777
仕掛品	1,875,562	2,209,615
原材料及び貯蔵品	675,628	826,369
前渡金	315,067	40,350
その他	179,621	429,178
貸倒引当金	△1,471	△1,964
流動資産合計	14,943,679	12,071,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	940,460	904,675
土地	841,913	841,913
その他（純額）	594,689	669,102
有形固定資産合計	2,377,063	2,415,691
無形固定資産		
その他	66,480	66,280
無形固定資産合計	66,480	66,280
投資その他の資産		
その他	876,772	837,284
貸倒引当金	△56,437	△44,181
投資その他の資産合計	820,334	793,102
固定資産合計	3,263,878	3,275,074
資産合計	18,207,557	15,346,929

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,489,379	780,515
電子記録債務	682,588	286,199
短期借入金	200,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	130,051	100,032
未払法人税等	80,836	16,677
賞与引当金	441,337	114,897
製品保証引当金	41,086	23,491
工事損失引当金	—	22,000
前受金	1,028,256	264,546
その他	1,100,567	1,147,724
流動負債合計	5,194,102	2,856,083
固定負債		
長期借入金	306,574	236,550
その他	72,275	72,722
固定負債合計	378,849	309,272
負債合計	5,572,951	3,165,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,567,357
利益剰余金	8,961,449	8,431,880
自己株式	△1,179,114	△1,176,606
株主資本合計	12,479,379	11,955,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155,226	225,763
その他の包括利益累計額合計	155,226	225,763
純資産合計	12,634,605	12,181,573
負債純資産合計	18,207,557	15,346,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	17,445,148	11,283,650
売上原価	12,677,267	8,398,310
売上総利益	4,767,880	2,885,340
販売費及び一般管理費	2,740,234	2,750,551
営業利益	2,027,645	134,789
営業外収益		
受取利息	711	1,358
受取配当金	16,308	16,508
雑収入	10,715	18,761
営業外収益合計	27,734	36,628
営業外費用		
支払利息	8,553	4,658
為替差損	4,167	12,672
シンジケートローン手数料	1,871	1,890
雑損失	3,742	6,036
営業外費用合計	18,335	25,257
経常利益	2,037,044	146,159
特別利益		
固定資産売却益	213	152
特別利益合計	213	152
特別損失		
固定資産除却損	2,990	4,151
固定資産売却損	18	—
特別損失合計	3,008	4,151
税金等調整前四半期純利益	2,034,249	142,160
法人税、住民税及び事業税	445,067	20,999
法人税等調整額	139,557	107,784
法人税等合計	584,625	128,783
四半期純利益	1,449,624	13,376
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,449,624	13,376

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,449,624	13,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111,106	70,537
その他の包括利益合計	△111,106	70,537
四半期包括利益	1,338,517	83,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,338,517	83,914
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,427,644	11,170,390	3,847,113	17,445,148	—	17,445,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,737	757	35,039	80,535	△80,535	—
計	2,472,382	11,171,148	3,882,152	17,525,683	△80,535	17,445,148
セグメント利益	17,974	2,164,589	198,844	2,381,408	△353,763	2,027,645

(注) 1 セグメント利益の調整額△353,763千円には、セグメント間取引消去1,475千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△355,238千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,244,046	4,903,194	4,136,409	11,283,650	—	11,283,650
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,108	—	31,868	48,976	△48,976	—
計	2,261,155	4,903,194	4,168,277	11,332,627	△48,976	11,283,650
セグメント利益又は損失(△)	△133,784	488,644	200,816	555,676	△420,886	134,789

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△420,886千円には、セグメント間取引消去691千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△421,578千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式会社日本技術センター及び株式会社テクノリンクの株式譲渡)

当社は、2019年12月9日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社日本技術センター及び非連結子会社である株式会社テクノリンク（以下、株式会社日本技術センターとあわせて「本件子会社」といいます。）の当社保有株式の全てを譲渡することを決議し、同日株式譲渡契約をNTホールディング株式会社と締結、2020年1月6日に譲渡を完了いたしました。

1. 株式譲渡の理由

本件子会社と当社グループの他の事業とのシナジー効果が十分に発揮・活用できていない状況にあり、当社と本件子会社それぞれがより競争力を高め、更なる事業の成長を実現する為に、本株式譲渡により、本件子会社を当社から独立した経営体制に移行させることが有益であると判断いたしました。

2. 株式譲渡の相手先の名称

NTホールディング株式会社

3. 株式譲渡の時期

株式譲渡契約締結日 2019年12月9日

株式譲渡実行日 2020年1月6日

4. 譲渡した子会社の名称、事業内容及び会社との取引内容

(1) 株式会社日本技術センター

事業の内容 設計製作・開発事業及び人材サービス事業

当社との取引 経営指導及び業務受託、資金の貸付、役員の兼任、設備の賃貸

(2) 株式会社テクノリンク

事業の内容 産業用機械の開発設計事業及び人材サービス事業

当社との取引 役員の兼任

5. 譲渡する株式の数、譲渡価額及び譲渡後の持分比率

(1) 株式会社日本技術センター

①譲渡前の所有株式数	48,728株
②譲渡株式数	48,728株
③譲渡価額	譲渡価額については、第三者機関に評価を依頼し、弁護士及び公認会計士を含む社内外の有識者による検証を行い、公正なプロセスを経て株式譲渡の相手先と協議のうえ決定しておりますが、秘密保持義務の観点から開示は控えさせていただきます。
④譲渡後の持分比率	—%

(2) 株式会社テクノリンク

①譲渡前の所有株式数	200株
②譲渡株式数	200株
③譲渡価額	譲渡価額については、第三者機関に評価を依頼し、弁護士及び公認会計士を含む社内外の有識者による検証を行い、公正なプロセスを経て株式譲渡の相手先と協議のうえ決定しておりますが、秘密保持義務の観点から開示は控えさせていただきます。
④譲渡後の持分比率	—%

6. セグメント情報の開示において、当該子会社が含まれている主要な区分の名称

人材サービス事業

7. 業績に与える影響

当該株式譲渡により、特別利益として譲渡益3億54百万円を第4四半期連結会計期間に計上する予定としております。